

平成20年度

事業の記録

2008



財団法人 鹿児島県国際交流協会

KAGOSHIMA INTERNATIONAL ASSOCIATION

目 次

《事業の記録》

第1	国際理解の増進	
1	情報収集提供機能の拡充	1
2	広報出版活動の充実	2
3	国際理解の推進	3
第2	国際交流活動の展開	
1	海外との相互交流の推進	5
2	在住外国人との交流促進	6
3	国際交流組織の連携・支援の強化	7
4	国際交流ボランティア制度の拡充	10
第3	多文化共生の推進	
1	在住外国人と日本人の相互理解の促進	12
2	異文化交流の促進	13
第4	国際協力の推進	
1	留学生への支援	15
2	国際協力に対する理解の促進	16
3	国際協力機関等との連携	16
第5	協会体制の確立	
1	管理運営の充実	18
2	組織機構の拡充強化	18
3	財産基盤の確立	19

第 1 国際理解の増進

1 情報収集提供機能の拡充

(1) インターネットによる情報収集提供機能の充実

インターネットによる情報の収集・提供（平成10年度開始）

インターネットによる情報収集・提供やホームページの定期的更新を行った。

年 度	内 容
平成18年度	日本語・英語のホームページの各種情報の随時更新や情報公開資料の掲載など、内容の拡充を図るとともに、Eメールを活用した情報提供を行った。さらに、中国語、韓国語によるホームページ立ち上げに向け掲載内容の選定・翻訳作業を行った。
19年度	日本語・英語に加え、中国語・韓国語のホームページを開設し、各種情報の随時更新を行うとともに、事業報告書等の情報公開資料の掲載など、内容の拡充を図った。 また、メーリングリストの開設など、Eメールを活用した情報提供を行った。
20年度	日本語・英語・中国語・韓国語のホームページの各種情報の随時更新を行うとともに、事業報告書等の情報公開資料の掲載を行った。 また、メーリングリストなど、Eメールを活用した情報提供を行った。

(2) 国際交流プラザのサービス機能の充実

ア ライブラリーの整備

(ア) 図書類の整備・利用促進（平成2年度開始）

海外渡航や生活情報、留学情報、アジア・太平洋諸国の最新事情及び交流の基礎となる鹿児島県の理解に役立つ図書類の収集・充実を図った。

また、海外新聞や海外雑誌等を定期的に購入し、閲覧に供した。

【図書類】

平成18年度末	平成19年度末	平成20年度末
2, 311冊	2, 417冊	2, 453冊

図書の分野：辞書・辞典、語学、外国事情、留学関係、国際理解、日本文化、日本理解等

【定期購読新聞・雑誌】

年 度	内 容
平成20年度	外国新聞 [5紙] 人民日報, Sunday Times, 東亜日報, The Japan Times, The Washington Post 外国語雑誌 [6誌] 週刊韓国, 人民中国, 読者, TIME, English Zone (途中休刊), 中国語ジャーナル その他 [2誌] 月刊日本語, 月刊スッカラ

(イ) ビデオテープの閲覧・変換サービス

a ビデオテープの閲覧（平成2年度開始）

ビデオテープの閲覧のサービスを実施した。

【ビデオの分野】海外情報、日本紹介、鹿児島県紹介、国際交流、国際協力等

b ホームビデオの変換サービス（平成6年度開始）

世界各国のビデオに対応するよう録画方式を変換するサービスを図った。

平成18年度	平成19年度	平成20年度
3件	0件	0件

- (ウ) 外国テレビ放映サービスの実施（BS放送：平成2年度，CS放送：平成15年度開始）
外国テレビ放送（英語・韓国語・中国語放送）の放映サービスを行った。

イ 情報提供サービスの推進

県民向け並びに在住外国人向け情報提供サービスの充実に努め，国際理解の増進を図った。

2 広報出版活動の充実

(1) 情報誌の発行

県民向け又は在住外国人向けの情報誌を発行した。

誌名	暖流	South Wing	国際交流ひろば
言語	日本語	英語	日本語
発行開始年度	平成5年度	平成元年度	平成12年度
平成18年度	2回各2,000部	2回各800部	12回各800部
19年度	2回各2,000部	2回各800部	12回各800部
20年度	1回 2,000部	1回 800部	12回各800部
平成20年度の 主な記事	第14回外国人による日本語スピーチコンテスト，かごしま国際交流フェスティバル，香港城市大学日本語フェスティバル，在住外国人のための日本語・日本理解講座，多文化共生ボランティア育成講座，留学生と協力隊OBが先生～見える・学べる・世界の国々～事業，鹿児島県青少年国際協力体験事業，21世紀東アジア青少年大	かごしま国際交流フェスティバル，第14回外国人による日本語スピーチコンテスト，在住外国人のための日本語・日本理解講座，留学生と協力隊OBが先生～見える・学べる・世界の国々～事業，カナダ紹介，日本流行語2008，多文化共生ボランティア，IR挨拶，国際交流プラザの案内	県内国際交流・国際協力のイベント情報等
配布先	県民向け 市町村，民間交流団体等， 地域国際化協会，県内学校	在住外国人向け 市町村外国人登録窓口， 県内大学，民間交流団体等	県民向け 県内学校，県庁，公共施設等

(2) 刊行物の発行等

ア 刊行物の発行

国際交流・協力に関する刊行物を発行し，地域の国際化に資した。

平成18年度	<ul style="list-style-type: none"> 平成17年度事業の記録 平成17年度事業報告書（アジア・太平洋農村研修センター）「あゆみ」 鹿児島県の国際交流・協力団体ダイレクトリー 留学生のための生活ガイドブック
19年度	<ul style="list-style-type: none"> 平成18年度事業の記録（ホームページにて発行） 留学生のための生活ガイドブック
20年度	<ul style="list-style-type: none"> 平成19年度事業の記録（ホームページにて発行） 留学生のための生活ガイドブック

イ 国際交流プラザ活用の促進

国際交流プラザを在住外国人の方に周知するため、日本語によるリーフレットのほか、外国語（英語）のリーフレットを配布した。

(3) 生活ガイドブックの販売（平成14年度開始）

在住外国人の生活を支援するため、外国語（英語・韓国語・中国語）の鹿児島生活ガイドブックの販売を行った。

【主な内容】法律上の手続き、医療・福祉、交通機関、緊急、災害等インフォメーション

3 国際理解の推進

(1) 外国語・文化講座等の開催

ア 県国際交流員等による文化講座等の開催（平成15年度開始）

県国際交流員や在住外国人による外国の文化紹介や異文化体験等を通して、県民の国際理解を促進するとともに、多文化共生の地域づくりへの関心を高めた。また、県内各地へ出向き、多くの県民が異文化体験できる機会の提供に努めた。

年 度	実施回数	参加者総数	内 容	講 師	会 場
平成18年度	8回	181名	各国料理講座、語学講座、中国の書道、韓国の伝統的遊び、国紹介他	県国際交流員（アイルランド、シンガポール、カナダ、韓国、中国）	かごしま県民交流センター・国際交流プラザ他
	3回	68名	ベトナム文化紹介講座、タンザニア文化紹介講座、新疆ウイグル自治区文化紹介講座	鹿児島大学留学生（ベトナム、タンザニア出身）、鹿児島国際大学非常勤講師	
19年度	8回	158名	カナダのおやつ「クレープ」を作ろう、ペラナカンの暮らし、中国の家庭料理を味わう、親子で韓国のおやつを作ろう、韓国文化を学ぶ自分づくり講座、映像で中国の観光地をめぐる、ケベックのフランス語、始良町国際交流料理教室	県国際交流員（シンガポール、カナダ、韓国、中国）	かごしま県民交流センター・国際交流プラザ他
	2回	53名	タピオカのおやつを作ろう、インドネシア文化紹介講座	鹿児島大学留学生（ミャンマー出身、インドネシア出身）	
20年度	5回	250名	幸運を呼ぶアートKolam体験講座、韓国の家庭料理講座、中国文化の話を聞こう、カナダ料理教室（加治木町）、2008ふるさと秋祭り（国際交流コーナー、始良町）	県国際交流員（シンガポール、カナダ、韓国、中国）	かごしま県民交流センター・国際交流プラザ他

イ ランチタイム・イングリッシュ・クラブ（平成4年度開始）

英語による外国文化の紹介や自由な意見交換を行うため、県国際交流員による「ランチタイム・イングリッシュ・クラブ」を開催した。

年 度	開催曜日	開催時間	講 師 (鹿児島県国際交流員)	会 場
平成18年度	金曜日	12:00~13:00	フィリップ・クイン (アイルランド) ダニエル・マッキ (カナダ) ツア・シンジュアン (シンガポール)	国際交流プラザ
19年度	金曜日	12:00~13:00	ダニエル・マッキ (カナダ) ツア・シンジュアン (シンガポール)	
20年度	金曜日	12:00~13:00	ダニエル・マッキ (カナダ) ツア・シンジュアン (シンガポール)	

ウ 中国・韓国文化理解・会話テキストCDの頒布 (平成19年度開始)

県民の外国人接客能力向上や在住外国人との交流を図り、本県の国際化を進めることを目的に、鹿児島県が制作した、中国・韓国文化理解・会話テキストCDを頒布し、県民と外国人との交流及び県民の国際理解の促進を図った。

(2) 国際理解プログラム事業の実施

ア 「留学生と協力隊OBが先生～見える・学べる・世界の国々～」事業の実施

(平成7年度開始)

青年海外協力隊や国際協力、発展途上国等に対する理解を深めるため、留学生や青年海外協力隊のOB・OG等を小・中学校に派遣する事業を、鹿児島県青年海外協力隊を支援する会及び青年海外協力隊鹿児島県OB会とで組織する実行委員会で実施した。

年 度		平成18年度	平成19年度	平成20年度
派 遣 学 校		42校	46校	45校
参 加 者 数		2,689名	2,774名	2,205名
講 師	留学生	16名	21名	27名
	協力隊OB・OG	42名	46名	45名

*後援：鹿児島県，鹿児島大学，鹿児島県教育委員会，JICA九州国際センター

(3) 国際理解教材の整備・貸出し

国際理解，国際交流，国際協力等に資する地域の国際化を目的とした事業等の実施者に対して，民族衣装や国旗，地図等の貸出しを行うとともに，その整備・充実を図った。

年 度	国 旗	地 図	民族衣装
平成18年度	26回	1回	16回
19年度	22回	1回	20回
20年度	26回	2回	19回

第 2 国際交流活動の展開

1 海外との相互交流の推進

(1) 海外派遣交流の推進

ア 青少年国際協力体験事業の実施（平成2年度開始）

鹿児島県青年海外協力隊を支援する会及び青年海外協力隊鹿児島県OB会と連携し、県内の中・高校生等にアジアにおける国際協力の現場を体験させる事業を、市町村や企業・団体の協力を得ながら実施した。

年 度	対象地域	団員数	主な派遣先	派遣期間	同行者数
平成18年度 (第15回)	鹿児島市, 枕崎市, 霧島市, 知覧町, 実行委員会枠	12名	マレーシア ボルネオ島サバ州 シニシアン村	7月22日(土)~29日(土) (8日間)	6名
19年度 (第16回)	鹿児島市, 枕崎市, 霧島市, いちき串木 野市, 南さつま市, 知覧町, 実行委員会 枠	17名	ベトナム 社会主義共和国 バクニン省 ディンバン村	7月22日(日)~29日(日) (8日間)	6名
20年度 (第17回)	鹿児島市, 鹿屋市, 枕崎市, 霧島市, 南 さつま市, 南九州 市, 実行委員会枠	14名	ラオス人民民主 共和国 ビエンチャン市 ボンミー村	7月20日(日)~27日(日) (8日間)	6名

イ 日韓交流おまつり2008 in Seoulの実施（平成20年度のみ）

国が企画した「日韓交流おまつり2008 in Seoul」の一環として、県内の高校生を韓国に派遣し、お互いの伝統芸能の紹介や交流を通して相互理解を深めた。

年 度	派遣高校名	派遣数	期 間
平成20年度	神村学園高等部	15名 (内同行者3名)	平成20年9月26日(金)~10月1日(水)

ウ 海外留学の支援

(ア) 留学関係情報の提供（平成2年度開始）

世界主要国の留学制度、海外生活、海外事情等に関する書籍を整備し、情報を提供するとともに、相談に応じたり専門機関の紹介を行ったりした。

年 度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
相談件数	58件	15件	12件

(イ) ワーキング・ホリデー促進への協力（平成11年度開始）

ワーキング・ホリデーに関する書籍の整備や掲示板で最新情報の掲示を行った。

また、ワーキング・ホリデーを希望する本人や家族からの旅行先、手続き・方法等について、相談に応じた。

年 度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
相談件数	43件	34件	8件

(2) 広域的受入事業

ア 大学生の受入（平成20年度開始）

本県との交流のある香港の日本語学習を希望する大学生に対し、日本語及び日本文化学習

の機会を提供し、本県と友好国・地域との交流を行った。

年 度	受入大学等名	受入数	研 修 期 間	研修内容
平成20年度	香港城市大学	12名	7月15日(火) ～8月5日(火)	日本語研修 ホームステイ 各所視察 日本文化体験(着付け・日本料理等)

イ 高校生の受入(21世紀東アジア青少年大交流計画)(平成20年度開始)

国が企画した「21世紀東アジア青少年大交流計画」の一環として、香港・マカオの高校生及びベトナムの中高生を受け入れ、高校訪問やホームステイを通じて友好関係の醸成を促進した。

年 度	受入国・地域	受入数	研 修 期 間
平成20年度	香港・マカオ	43名	平成20年7月18日(金)～7月19日(土)
	ベトナム	18名	平成20年12月4日(木)～12月10日(水)

ウ 日韓交流おまつり2008 in Seoulの実施(平成20年度のみ)

国が企画した「日韓交流おまつり2008 in Seoul」の一環として、韓国の高校生を本県に招へいし、お互いの伝統芸能の紹介や交流を通して相互理解を深めた。

年 度	招へい高校名	受入人数	期 間
平成20年度	全羅北道全州市湖南第一高等学校	10名	平成21年2月22日(日)～2月27日(金)

エ 国際観光船寄港時の協力(平成2年度開始)

国際観光船の寄港時等に、主催者や関係機関と連携し、語学ボランティアを紹介するなど必要な協力を行った。

年 度	日 時	観 光 船 名	内 容	参加者数
平成18年度	—			
19年度	平成19年 7/7(土), 7/12(木), 7/16(月), 7/22(日), 7/27(金), 8/31(金), 9/15(土), 9/24(月), 10/4(木)	コスタアレグラ号	通訳(中国語)	延べ 11名
20年度	—			

2 在住外国人との交流促進

(1) 国際交流活動の促進

市町村・団体等への支援(平成2年度開始)

市町村・企業・団体等が在住外国人との交流活動を行う場合、その企画立案等の相談に応じるとともに、後援の形で必要な協力を行った。

年 度	共催件数	後援件数
平成18年度	3件	16件
19年度	0件	10件
20年度	0件	10件

(2) 「かごしま国際交流フェスティバル」事業の開催（平成20年度開始）

昨年度まで実施していた「国際子供フェスティバル」の拡充等を図り、体験型のプログラムを通して、世界の国々や異文化の存在を肌で感じ、国際交流・国際理解への第一歩となることを目的としたフェスティバルを実施した。

実施に当たっては、NGOとの連携及び在住外国人との共生の促進を図るため、NGOや県内在住外国人にブースの出店などの協力をもらい、県民との相互理解・交流を深めた。

開催期日	内 容	参加者	開催場所
平成20年11月30日(日)	<ul style="list-style-type: none"> ・民族衣装体験 ・ブラジル紹介, めりえ ・フェアトレードの紹介・販売 ・ヘナペイント ・世界の遊び, 外国の歌・踊り ・ビーズで国旗作り, フェイスペイント ・民族楽器体験, 民族楽器の演奏 ・外国の踊りや演奏 ・みんなで大きな絵をかこう ・クイズラリー ・世界の食ひろば (ナイジェリア, ブラジル, 中国, トルコ, インドネシア, シンガポール, 韓国の料理やおやつ, インドやパキスタンのカレー) <p style="text-align: right;">など</p>	4, 656名	かごしま県民交流センター各会場

3 国際交流組織の連携・支援の強化

(1) 民間団体の国際交流・協力活動への助成（平成2年度開始）

県内の民間団体が行う海外との文化・スポーツ・学術等の国際交流活動、県民の国際理解の推進を目的とする活動、地域レベルの国際交流・協力の推進を目的とする活動等に対し助成金を交付した。

団体名	活動目的・内容	助成額(千円)
特定非営利活動法人全国語学教育学会	<p>(目的)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師や英語に興味関心のある保護者の幼児, 小学生, 中学生への英語指導方法を具体的に学ぶと共に, 国際化が進む社会で活躍する人材の育成基盤を作る。 ・英語指導者間で様々な情報交換ができ, 今後の鹿児島県の英語教育の促進に向けて, 連携を深める。 ・全国各地で活躍する児童英語専門家の指導を鹿児島県にしながらにして受けることができ, 英語教育の広い視野を得る。 <p>(内容)</p> <p>県内外から児童英語教育の専門家を招き, 鹿児島県の英語教育関係者への情報提供を図った。</p> <p>期日:平成20年6月22日(日) 場所:鹿児島大学総合教育研究棟 参加者:101名 小学校教諭, 中学校教諭, 大学教授・准教授・講師, 英語指導助手(AET)/語学学校講師, 英語教職課程学生</p>	145千円

<p>特定非営利活動 法人YOU国際 教育プログラム</p>	<p>(目的) 3大テーマは「国際理解」「国際交流」「英語」である。 「国際理解」について 世界について学ぶ方法はいくつもあるが、「生徒自身が調べる」という非常に有効な方法をとっている教育の場はあまり見当たらない。一方的に教えられたり、暗記をしいられるのと違い、知識や経験としてこどもの心に残るばかりではなく、国際社会への興味を広げるこの学習方法を実践する。 「国際交流」について 外国人と心の通う中身の濃いふれあいを体験させ、子ども達の世界に対する親愛感を育てる。 「英語」について 海外ホームステイや留学をしなくても、英語を1日中使う環境を設けることで、英語教室や中学校で学んだ英語をアカデミックに、また日常会話として使う機会を与える。</p> <p>(内容) 平成20年6月～8月 ・参加者募集のチラシ作成 ・教材作成 ・外国人リーダー募集 ・参加者募集活動 平成20年8月27日(水)～30日(土) イベント開催 鹿児島市、始良町、垂水市、鹿屋市から中学生23人の参加があり、計画通り3泊4日の英語研修合宿を行った。 5グループに分かれ、外国人リーダーを中心に様々な国の情報を書籍やインターネットを使って調べ、手書きのポスターや写真、劇や踊りも交えて最終日に英語で発表した。ALTや鹿児島大学留学生がグループリーダーとなり、熱心にまた親しみをもって参加者の生徒達の指導にあたった。食事時間や自由時間も外国人リーダーと共に過ごし、生徒達は交流を深め、英語を話し聞く機会を得た。夜はゲームや歌、ダンスなどのアクティビティーを行い盛り上がった。 最終日には別れを惜しんで涙を流す生徒もいた。参加者と保護者対象に行ったアンケート調査では「楽しかった」「また参加させたい」など大変高い評価を受けた。</p>	<p>140千円</p>
<p>国際交流企画 会フィエスタ クラブ</p>	<p>(目的) 国際結構をしている主婦で構成される当団体は、いわゆる「ハーフ」の子どもたちを育てる中で、意識の違いや差別に悩む我が子の姿に直面し、真の国際理解の必要性を痛感する。そこで、草の根レベルの国際交流の場を提供し、相互理解を深め、また、個々の人間成長、文化、趣味、生きがいを求める学びの場も提供したいと考える。</p> <p>(内容) ●英語de親子イベント・イースター 期日：平成20年4月13日(日) 参加者：59名 幼稚園児から小学生と保護者を対象に、外国人講師によるゲームやイースターエッグ作り、エッグハント等のアクティビティ、親御さん対象のトーク「楽しい国際交流」、おうちde英語レッスン等を通しお互いの理解を深めた。 ●サマースクールinいむた池(小学生対象) 期日：平成20年8月25日(月)～26日(火) 参加者：24名 1泊2日にわたるキャンプで、英語ゲームやミニ英会話クラス、遊び等を、外国人や「ハーフ」の子どもたちと楽しむ中で外国人をより身近に感じてもらい、また、英語や外国語文化に親しんだ。 ●クイズナイト(大人対象) 期日：平成20年10月25日(土) 参加者：74名 参加者をグループ分けし、グループごとに外国人出題者が英語で出すいろいろなジャンルのクイズに挑戦してもらい、それぞれ多国籍の人々で構成されたグループで、文字どおり額をつきあわせてクイズを解いてもらうなかで多国籍の中の一人であることを体験してもらい、イギリスの文化であるクイズナイトを楽しんだ。</p>	<p>170千円</p>

<p>鹿児島県子ども劇場協議会</p>	<p>(目的) 平和がテーマの『時計が止まったある日』の作品を招聘することで、鹿児島の子どもたちが平和とは何かを考え、韓国の劇団と交流やワークショップをしながら、韓国の文化に触れることで、隣国である韓国の文化や歴史の違いを学び、国際交流の一步となり、文化により子どもたちが広くアジアに目を向けていくことを目的とします。この取り組みは、子ども劇場創立35周年を記念して中学生・高校生が中心となり、実行委員会をつくり、自分たちの中学校を中心としてできるだけ多くの生の文化芸術に触れたことのない子どもたちへ向けての公演の準備を行い、地域で人と人がつながりあい、学校を超えて、年齢を超えて子どもたちの友情と自主性、創造性を育む取り組みを行う。</p> <p>(内容) ●劇団サダリ『時計が止まったある日』招聘公演及び参加者全員とのワークショップ 期日：平成20年10月11日(土)～11月14日(金) 場所：県内25カ所 (鹿児島市内13カ所、大口市、薩摩川内市(川内)、霧島市(隼人)、南さつま市(加世田)、指宿市、中種子島町、鹿屋市、加治木町、奄美市、喜界町、徳之島町、与論町) ●歓迎交流会 期日：平成20年10月13日(祝) 場所：武中学校体育館 参加者：193名 ●子どもたちと俳優とのワークショップ交流会 期日：平成20年10月25日(土) 場所：eテラス10階ホール 参加者：45名 ●お別れまとめ会 取り組みの成果とまとめの報告、県内から21カ所の子ども実行委員とおとな責任者によるまとめの会 期日：平成20年11月15日(土) 場所：ボランティアセンター(鹿児島市民福祉プラザ) 参加者：約200名</p>	<p>450千円</p>
<p>DANKA DANKA</p>	<p>(目的) 海外協力NGOとして国際協力活動を行ってきた当会の経験資源を活かし、鹿児島市における多文化共生社会を促進するための当会の能力・専門性を育成することが目的である。良質で肯定的な「違いに触れる場」を外国人と共に企画し、3つのプログラム(1. 多様な価値・世界観・様々な現実, 2. アフリカ理解, 3. 外国人子育て支援)を提供することによって多文化共生社会実現の手法の実験的試みを行うことを目的とする。</p> <p>(内容) 平成20年10月1日(水)～平成21年3月31日(火) 1多様な価値・多様な世界観・さまざまな現実に触れる ・世界「女性の日」に乾杯!、・アラビックカフェ、・外国童話読み聞かせ、・チベット上映会「ヒマラヤを越える子どもたち」、・グラミン銀行 2アフリカ理解講座 ・モーリタニアバオバブと砂漠化の話、・北アフリカ紹介、・東アフリカ人とピクニック、・Charity Cookingエジプト料理、・「母たちの村」自主上映講演会、・AFRICANNIGHT(西アフリカ音楽「セネガル音楽」、アフリカの太鼓と木の話、Charity Cookingモーリタニア料理、アフリカダンス)、・ジャンベワークショップ 3外国人子育て支援 ・育児支援、・ENGLISHかふえ、・ビーズ教室、・ベビーシッターチケット</p>	<p>348千円</p>
<p>計5件</p>	<p>助成金交付額1,253千円</p>	

(2) 市町村や市町国際交流協会・国際交流団体とのネットワークの推進(平成11年度開始)

ア 共通の課題や問題を抱える市町村の職員を対象とした講演会及び意見交換会を開催

し、問題解決のための方策の検討を行うとともに、ネットワークづくりを推進した。

年 度	開 催 日	参加団体	備 考
平成18年度	平成18年12月24日(日)	25団体	市町国際交流協会 県内国際交流団体等
19年度	平成19年12月16日(日)	20団体	市町国際交流協会 県内国際交流団体等
20年度	平成21年2月17日(火)	20市町	市町村

イ 国際交流団体間の情報交換及び連携を図るため、「鹿児島県国際交流・協力団体メーリングリスト」の活用を促進した。

(3) 全国組織等との連携

ア 全国組織等との連携

地域国際化協会連絡協議会をはじめ、財団法人自治体国際化協会など当協会と関係の深い全国組織等との連携を密にし、事務・事業の円滑な推進を図った。

年 度	内 容	開 催 日	開催場所
平成18年度	地域国際化協会連絡協議会総会	平成18年5月30日	東京都
19年度	地域国際化協会連絡協議会総会	平成19年5月14日	東京都
20年度	地域国際化協会連絡協議会総会	平成20年5月29日	東京都

イ 九州地区の協会間の連携

九州・沖縄地区の地域国際化協会で組織する連絡協議会の総会及び実務者研究会に参加し、相互の情報交換や連携の強化を図った。

年 度	内 容	開 催 日	開催場所
平成18年度	九州地区地域国際化協会連絡協議会 総会	平成18年7月27日～28日	北九州市
	九州地区地域国際化協会連絡協議会 実務者研究会	平成19年2月8日	大分県
19年度	九州地区地域国際化協会連絡協議会 総会	平成19年7月12日～13日	沖縄県
	九州地区地域国際化協会連絡協議会 実務者研究会	平成19年11月21日	鹿児島県
20年度	九州地区地域国際化協会連絡協議会 総会	平成20年7月17日～18日	宮崎県
	九州地区地域国際化協会連絡協議会 実務者研究会	平成20年11月20日	熊本県

4 国際交流ボランティア制度の拡充

ボランティア活動の拡充・促進（平成2年度開始）

各種ボランティア登録者の拡大を図るとともに、登録者の充実した活動ができるよう支援した。また、協会の各種事業において、ボランティアの活動の機会を提供するとともに、広報等に努めた。

(1) 登録者の状況（年度末現在）

年 度	ホストファミリー ボランティア	語学ボランティア
平成18年度	81家庭	73名
19年度	69家庭	65名
20年度	57家庭	56名

(2) 活動の状況

平成18年度	平成19年度	平成20年度
19件	15件	12件

(3) 活動実績（平成20年度）

ア ホストファミリーボランティア

名 称	期 日	家庭数
財団法人鹿児島県国際交流協会 香港城市大学日本語研修	平成20年7月25日 ～7月31日（6泊7日）	7家庭
大和日英基金 「大和スカラーシップ」奨学生の受け入れ	平成20年8月30日 ～9月27日（4週間）	1家庭
（個人） 日本生活体験のためのホームステイ受け入れ	平成20年9月1日 ～9月28日（4週間）	1家庭
社団法人鹿児島青年会議所 相互理解スクール参加者のホームステイ受け入れ	平成20年8月27日 ～8月29日（2泊3日）	1家庭
鹿児島県国際交流課 シンガポール日本語スピーチコンテスト 優勝者ホームステイ受け入れ	平成20年12月5日 ～12月7日（2泊3日）	2家庭
鹿児島市国際交流市民の会 鹿児島市内の留学生ホームビジットの受け入れ	平成20年10月25日	1家庭
財団法人鹿児島県国際交流協会 東アジア大交流計画 ベトナム中高生ホームステイ受け入れ	平成20年12月7日 ～12月8日（1泊2日）	9家庭

イ 語学ボランティア

名 称	期 日	活動人数	内 容
日韓美術交流クラブ 日韓美術交流展 図録に掲載するあいさつ文の翻訳	平成20年7月13日	1名	翻訳 （韓国語）
（個人） スポーツ合宿現地視察	平成20年10月9日	1名	通訳 （韓国語）
鹿児島市国際交流市民の会 かごしまアジア青少年芸術祭 歓迎レセプション	平成20年10月17日	1名	通訳 （韓国語）
（個人） 手紙の翻訳	平成20年12月17日	1名	手紙の翻訳 （英語）
（個人） 観光ガイド	平成21年3月24日 ～3月25日	2名	観光ガイド （英語）

第3 多文化共生の推進

1 在住外国人と日本人の相互理解の促進

(1) 在住外国人のための日本語・日本理解講座の開催（平成16年度開始）

県内に在住している外国人を対象に、日本語及び地域社会で生活する上で必要な生活情報等についての研修を行い、生活の充実とコミュニケーションの円滑化を図った。

クレアの助成事業として実施した。

年 度	講座回数	受講者数	会 場
平成18年度 初心者 初 級	30回 (5月～12月毎週土曜日)	延べ106名	国際交流プラザ
	30回 (5月～12月毎週火曜日)	延べ155名	
19年度 初 級 中 級	15回 (5月～9月毎週水曜日)	10名	
	15回 (10月～1月毎週水曜日)	17名	
	15回 (5月～9月毎週木曜日)	18名	
	15回 (10月～1月毎週木曜日)	22名	
20年度 初 級 中 級	30回 (5月～2月毎週水曜日)	23名	
	30回 (5月～2月毎週木曜日)	26名	

(2) 多文化共生ボランティア育成講座の開催（平成19年度開始）

地域社会で生活する外国人のコミュニケーション面や生活面でサポートしうる人材の育成を目的に、多文化共生ボランティア育成講座を開催した。

クレアの助成事業として実施した。

年 度	開 催 期 日	内 容	受講者数
平成19年度	第1回	平成19年10月29日（月） 在住外国人サポートに関する基礎知識	26名
	第2回	平成19年11月10日（土） 在住外国人に関する生活上の課題	24名
	第3回	平成19年11月17日（土） 学校教育における支援課題	20名
	第4回	平成19年12月1日（土） 医療における支援の課題	20名
	第5回	平成19年12月15日（土） 保健・福祉における支援の課題	21名
	第6回	平成20年1月12日（土） 災害時の対応・支援のあり方	19名
	第7回	平成20年1月26日（土） やさしい日本語表現	21名
	第8回	平成20年2月9日（土） 外国籍住民を取り巻く状況とまとめ	19名

20年度	第1回	平成20年10月11日（土）	オリエンテーション・意見交換	24名
	第2回	平成20年11月1日（土）	日本で暮らす外国人の現状	26名
	第3回	平成20年11月8日（土）	(1) 鹿児島県の学校教育における支援 (2) 在住外国人の体験談発表	27名
	第4回	平成20年11月15日（土）	医療通訳の基礎知識・心構え	23名
	第5回	平成20年12月6日（土）	やさしい日本語表現	27名
	第6回	平成20年12月13日（土）	まとめ・意見交換	21名

(3) 多文化共生ボランティア育成講座受講生の活動支援（平成20年度開始）

平成19年度に上記講座を受講した受講生の活動を支援するため、情報提供など支援を行った。

年 度	支 援 内 容
平成20年度	ボランティアミーティング ボランティアへの助言や関係機関等との連絡調整 相談時の職員同行 など

(4) 生活相談等

関係機関・団体等と連携しながら、各種の生活相談を行った。

【主な相談内容と件数】

ア 日本人相談内容

年 度	留 学	外 国 情 報	外 国 語	交 流	生 活	そ の 他	合 計
平成18年度	58件	10件	31件	15件	10件	86件	210件
19年度	15件	19件	30件	12件	5件	114件	195件
20年度	12件	20件	17件	11件	4件	40件	104件

イ 外国人相談内容

年 度	就 労	観 光	ビザ	生 活	医 療	そ の 他	合 計
平成18年度	9件	3件	2件	15件	—	25件	54件
19年度	14件	5件	14件	11件	3件	44件	88件
20年度	5件	3件	4件	8件	1件	25件	46件

(5) 相談・支援体制の充実

交流推進員及び交流企画員を中心に、外国人等の生活相談、国際交流に係る相談に適切に応じられるよう、職員の専門知識の習得やカウンセリング技術の向上に努めた。

2 異文化交流の促進

(1) 外国人による日本語スピーチコンテストの開催（平成18年度開始）

各種国際交流団体と連携して県内在住外国人によるスピーチコンテストを開催し、国籍や文化の違いを越えた相互理解及び国際交流を深める機会とした。なお、平成20年度は、クレアの助成事業として実施した。

年度	区分	開催期日	出場者	出場者出身国・地域
平成18年度	予選	平成19年 1月13日 (土)	18名	中国, 韓国, イギリス, インドネシア, ベトナム, パキスタン, バングラデシュ, ブラジル, 台湾, インド
	本選	平成19年 1月20日 (土)	10名	中国, 韓国, インドネシア, ベトナム, パキスタン, インド
19年度	予選	平成20年 1月 6日 (日)	29名	中国, 韓国, 台湾, インドネシア, ブラジル, ペルー, ドイツ, フィリピン, マレーシア, カナダ, タイ, アメリカ, タンザニア
	本選	平成20年 1月14日 (月)	10名	中国, 韓国, インドネシア, タイ, マレーシア, アメリカ
20年度	予選	平成21年 1月10日 (土)	31名	中国, 韓国, 台湾, インドネシア, マレーシア, タイ, ミャンマー, モンゴル, カナダ, イギリス, アメリカ
	本選	平成20年 1月17日 (土)	10名	中国, 韓国, ミャンマー, カナダ, イギリス, アメリカ

(3) 在住外国人によるかごしま写真コンテストの開催（単年度開催）

在住外国人が地域社会の一員として県民とともに暮らす中で感じたことなどを写真を通して発表し、国籍や文化の違いを越えた相互理解・国際交流を深め、多文化共生の社会づくりを図った。なお、鹿児島大学留学生会と同時主催とした。

年 度	応募期間	テーマ	応募件数 (枚)	出身国・地域
平成20年度	平成21年 1月20日 ～3月6日	・旅行 ・驚き ・私のベスト ショット	129枚	中国, カナダ, イギリス, フィリピン, パキスタン, 韓国, マレーシア, アメリカ, シンガポール, オーストラリア, タンザニア, ケニア, ニュージーランド, 台湾, ミャンマー, エジプト, アイルランド

(4) 県国際交流員等による文化講座等の開催（再掲）

県国際交流員や在住外国人による外国の文化紹介や異文化体験等を通して、県民の国際理解を促進するとともに、多文化共生の地域づくりへの関心を高めた。

(5) 国際交流プラザでの交流促進

来訪者同士の自由な交流（平成2年度開始）

国際交流プラザを訪れる外国人と県民とが気軽に談笑したり、情報や意見交換を行うなどの自由な交流を楽しむ場を提供した。

また、伝言板を設置して、イベント・不要品交換などの情報交換の場を提供した。

第 4 国際協力の推進

1 留学生への支援

(1) 研究活動費の助成（平成 3 年度開始）

一定の条件を満たす留学生の学会等への出席などの研究活動を支援するため、旅費等の研究活動費の助成を行った。

年 度	対象者	助 成 金
平成18年度	1 名	3 0 千円
19年度	8 名	2 3 2 千円
20年度	0 名	0 千円

(2) 留学生の交流活動への支援（平成 5 年度開始）

東文子・外国人留生活動等支援事業会計を活用し、留学生会等が主催する国際交流・理解事業等に要する経費の助成を行うなど、留学生の交流活動等への支援を行い、国際交流・理解をさらに促進した。

ア 外国人留学生交流活動事業助成金

年 度	件 数	金 額
平成17年度	1 件	1 0 0 千円
18年度	1 件	1 0 0 千円
20年度	1 件	1 0 0 千円

イ 留学生会等への支援

年 度	件 数	金 額
平成18年度	9 件	5 9 千円
19年度	2 件	8 千円
20年度	2 件	8 千円

ウ 東文子・外国人留生活動等支援事業

年 度	件 数	金 額
平成18年度	4 件	9 7 5 千円
19年度	2 件	3 2 4 千円
20年度	2 件	3 8 7 千円

(3) 留学生支援資金貸付制度の運営（平成 1 0 年度開始）

留学生が、生活費、住宅費、医療費、学費等で一時的・臨時的に多額の出費を必要とする場合に、無利息で資金の貸付を行った。

年 度	貸付件数	貸付額
平成18年度	4 件	4 0 0 千円
19年度	7 件	7 0 0 千円
20年度	3 件	3 0 0 千円

(4) 留学生住宅確保支援事業（平成13年度開始）

留学生が住居を賃借する際に、当協会が賃貸契約の連帯保証人として機関保証することにより、留学生の円滑な住宅確保を図った。

年 度	件 数
平成18年度	14件
19年度	13件
20年度	15件

(5) 各大学等留学生担当者意見交換会の開催（平成18年度開始）

留学生に関する情報交換や支援のあり方等について、各大学等留学生担当者との意見交換会を実施し、連携を深めた。

開 催 日	参加者	開催場所
平成18年4月28日（金）	14名	かごしま県民交流センター
平成19年4月25日（水）	17名	
平成20年4月22日（火）	17名	

(6) 留学生のための生活ガイドブックの発行

日本語や日本の生活習慣等に不慣れな新入学の留学生が、戸惑うことなく安心して鹿児島での生活を送ることができるよう、「留学生のための生活ガイドブック」を発行した。

平成18年度	平成19年度	平成20年度
600部	150部	750部

2 国際協力に対する理解の促進

(1) 青少年国際協力体験事業の実施（再掲）

鹿児島県青年海外協力隊を支援する会及び青年海外協力隊鹿児島県OB会と連携し、県内の中・高校生等にアジアにおける国際協力の現場を体験させる事業を、市町村や企業・団体の協力を得ながら実施した。

クレアの助成事業として実施した。

3 国際協力機関等との連携

(1) 独立行政法人国際協力機構（JICA）

国際協力推進員の配置（平成8年度から）

独立行政法人国際協力機構との連携により、協会内に国際協力推進員を配置し、国際協力等に関する情報提供や相談等に応じた。

【国際協力に関する情報提供，相談】

年 度	開発教育	NGO	その他の国際協力	合 計
平成18年度	76件	18件	247件	341件
19年度	77件	12件	235件	324件
20年度	65件	10件	240件	315件

(2) 財団法人国際協力推進協会（APIC）

「国際協力プラザコーナー」の設置（平成10年度開始）

A P I Cから提供される国際協力に関する情報提供を行った。(パンフレット, 書籍, ビデオ等)

(3) 財団法人日本ユニセフ協会

子供向け, 学校向けのユニセフ視聴覚教材を揃え, 貸出を行った。
ユニセフビデオの貸し出し(平成6年度開始)

平成18年度	平成19年度	平成20年度
23件	21件	14件

(4) 在外県人会の育成

ア 活動の支援(昭和62年度開始)

在外県人会が行う移住者の援護指導, 消息不明者の調査, 移住者の実態調査, 県人子弟の育成・指導, 母県との交流などの活動を支援するため, これらの業務を県人会に委託した。

委託先: ブラジル, アルゼンチン, ペルー, パラグアイ鹿児島県人会

イ 郷土情報の提供(昭和62年度開始)

在外県人会並びに県出身者に対して, グラフかごしま, 県政かわら版, かがしまNOW等を定期的に送付し, 郷土情報の提供を行った。

第5 協会体制の確立

1 管理運営の充実

(1) 国際交流プラザの運営（平成2年度開始）

「国際交流プラザ」の運営について、県の委託を受けて、県民や在住外国人等をはじめ関係団体等に幅広く利用されるよう各種のサービスの提供に努めた。

ア 国際交流プラザ入館者数・会議室利用件数

年度	入館者数	会議室利用件数
平成18年度	42,415名	230件
19年度	40,135名	258件
20年度	45,083名	199件

イ 国際交流プラザの施設

設置年月：平成2年7月（平成15年4月移転）

施設総面積：433.46㎡（移転前193.08㎡）

施設の内容：交流サロン、情報資料コーナー（図讎、ビデオ）、研修施設（会議）、メッセージボード

(2) 旅券業務の遂行（昭和62年度開始）

県の委託を受けて、旅券の申請受付・作成・交付の業務を行った。

年度	旅券交付件数	取扱事務所
平成18年度	32,945件	かごしま県民交流センター内パスポート窓口， 地域振興局（南薩，北薩，姶良・伊佐，大隅）， 支庁（熊毛，大島）， 事務所（屋久島，瀬戸内，喜界，徳之島，沖永良部）
19年度	29,753件	
20年度	28,389件	

2 組織機構の拡充強化

新しい時代感覚と複雑多様化する国際交流・協力事業を円滑適切に遂行していくため、各種の研修等による職員の資質の向上に努めた。

年度	研修	実施期間	実施場所
平成19年度	旅券事務担当者実務研修	平成19年5月25日	鹿児島市
	地域国際化協会職員国内研修会（事業担当者向け）	平成19年7月5日～6日	東京都
	多文化共生社会対応コース研修	平成19年8月27日～31日	滋賀県
	地域国際化協会職員国内研修会（管理担当者向け）	平成19年8月30日～31日	東京都
	災害対策事例説明会	平成19年9月7日	大分県
	地域国際化協会職員国内研修会（事業担当者向け）	平成19年12月13日～14日	東京都
20年度	旅券事務担当者実務研修	平成20年5月16日	鹿児島市
	外国人住民相談相互支援システム利用研修会	平成20年6月20日	福岡県
	地域国際化協会職員国内研修会（事業担当者向け）	平成20年7月9日～10日	東京都
	多文化共生社会対応コース研修	平成20年8月25日～29日	滋賀県
	地域国際化協会職員国内研修会（管理担当者向け）	平成20年9月11日～12日	東京都
	地域国際化協会職員国内研修会（事業担当者向け）	平成20年12月11日～12日	東京都

3 財源基盤の確立

(1) 基本財産の適切な運用と事業推進に必要な財源確保に努めた。

(2) 地域国際化協会等先導的施策支援事業の実施（平成9年度開始）
財団法人自治体国際化協会の助成を受け、先導的施策支援事業を実施した。

年 度	事 業 名	助成金の額
平成18年度	国際子供フェスティバル	1, 5 1 0 千円
19年度	国際理解プログラム事業	7 0 0 千円
20年度	かごしま国際交流フェスティバル事業	1, 4 2 0 千円

(3) 地域国際化施策支援特別対策事業の実施（平成19年度開始）
財団法人自治体国際化協会の助成を受け、地域国際化施策支援特別対策事業を実施した。

年 度	事 業 名	助成金の額
平成19年度	在住外国人と日本人のための異文化理解講座	9 0 0 千円
20年度	在住外国人と日本人のための異文化理解講座	4 0 0 千円